



講座 5 <主催講座・プロフェッサーコース>

北海道の稲作史 「稲作日本一への軌跡」

北海道の稲作は、江戸時代の試作に始まり、明治以降、石狩平野でも生産されるようになり、現在では質・量とも全国トップクラスの米の産地となりましたが、開拓者や行政は、数多くの品種育成や技術開発、農地の改良を積み重ねてきました。

その試行錯誤と苦勞の経緯を学ぶとともに、農業研究センターで品種改良や栽培技術の実際と収穫前の稲を見学し、北海道の稲作についての理解を深めます。

「日本の稲作史・北海道の稲作史」

7月17日(土)

13:00～14:30

「農地・水田にするための
泥炭土壌の改良」

8月21日(土) 13:00～14:30

「北海道農業研究センター見学」

9月9日(木) 9:00～13:00



北海道農業研究センターホームページより転載

講師、元北海道立十勝農業試験場 場長 藤村 稔彦 氏
元北海道立中央農業試験場生産システム部部长 稲津 脩 氏

会 場 / 、 石狩市民図書館 石狩市公民館集合・解散

定 員 / 、 50人、 30人 (申込多数時抽選)

受 講 料 / 各回 カレッジ生 400円、一般 500円 (のみバス代別途 700円)

申込締切 / 7月3日(土)

申込み・問合せ / いしかり市民カレッジ事務局 (石狩市公民館内)

TEL/Fax : (0133)74-2249・72-3173 メール : kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

この講座は、学びのスタンプ対象講座、道民カレッジ連携講座です。

